



所属会派：清風クラブ・団長  
議会運営委員会委員長  
環境厚生常任委員会副委員長  
平塚市病院運営審議会委員

## いつも笑顔で やる気、根気、元気!



平塚市議会では、5月臨時会、6月定例会の経験を踏まえて、新型コロナウイルス感染症対策を確認し、9月定例会を開会しました。

議会外の活動としては「集まる」機会は減りましたが、このコロナ禍の経験を通しての気づきやニーズもあります。

感染予防対策を日常に取り入れて、まちづくりを前に進めてまいります。

令和2年8月28日から9月24日まで、令和2年9月定例会が開催されました。総括質問・25分の質疑応答の一部を抜粋してご報告します。ひらつか議会だより第216号（R2.11.6発行）と併せてご一読ください。

### 活動報告会 について

新型コロナウイルス感染症拡大により、これまで開催を見送っています。  
活動についてのご意見・ご質問については fax:0463-21-7600、  
E-mail:takatan.kike@md.scn-net.ne.jp へお願いします。

## 令和元年度決算と今後の財政見通し

令和元年度、本市の一般・特別会計を合わせた歳入総額は1,533億9,460万余円、歳出総額1,447億3,640万余円で、前年度に比べ歳入は64億7,023万余円・4.0%、歳出は72億5,780万余円・4.7%、それぞれ減少した。歳入から歳出を差し引いた形式収支は、56億5,819万余円の黒字であり、また、形式収支から翌年度への繰越財源を差し引いた実質収支は49億6,627万余円の黒字となり、今年度の実質収支から前年度の実質収支を差し引いた単年度収支は4億4,092万余円の黒字となった。財政の弾力性を示す経常収支比率は96.4%となり、平成30年度と比較して0.1ポイント改善したものの財政の硬直化が引き続き懸念されるところである。

**問** 新型コロナウイルス感染症と共存していく生活はすでに世界中で始まっているが、経済への影響は避けられない。一般会計、特別会計、また、公営企業会計の今後の財政見通しについて見解を伺いたい。

**市長** 最近の経済状況を見る限り、新型コロナウイルス感染症の影響から先行きは不透明であり、一般会計では歳入の根幹である市税の減収が見込まれ、厳しい状況が続くものと考えている。また、特別会計や公営企業会計についても同様に厳しい状況が続くものと考えている。今後も歳出の選択と集中による削減と国県支出金など歳入確保に取り組み、効率的・効果的な財政運営を進めていく。

次ページに続く→

## 一問一答による再質問

**問** 本市では競輪事業を運営し、1950年度から2019年度まで、総額1,042億円を一般会計へ繰り出しをしてきた。今年度3億円、一般会計への繰り出しを予定している。ネットでの販売等を活用して、この辺りが少しでも近くなるような努力をしていただきたいと思うが見解を伺う。

**公営事業部長** 一時、記念競輪開催が中止になったが、その後、開催してからはネットの売り上げもあり現時点では昨年並みの売上を確保している。今後もネットの拡大を中心にPRして、通常開催ともども、特に年末にある競輪グランプリを成功裏に修めて、何とか3億円に近い繰出金を確保できるように努力して参りたいと考えている。



**問** 総合計画改訂基本計画2020～2023に改定されたばかりでの今回のコロナ禍であり、実施計

画への影響はすでにあった。来年度以降の実施計画についてどう影響を及ぼすのか見解を伺う。

**企画政策部長** 昨年1年間かけて作成した改訂基本計画を、このコロナ禍でもう一度見直すということは、現実的には難しい。ただ、ニューノーマル、新しい生活というような言葉で表されるように、我々の社会様式が大きく変わったし、今の時代とこの改訂基本計画が完全にフィットしているかということ、難しい部分も出てきているのは事実だと思う。そういった部分については、実施計画の方で、時代に即した面を示していきたいと考えている。例えば、この急速なデジタル化への対応は必ず取り組まなければならない事項なので、実施計画の中で明確に示させていただきたい。



平塚市議会は2021年度にタブレット導入を目指しています。これに先立って、議会運営委員会では令和元年11月、大阪府門真市議会の取り組みを視察しました。

## 新型コロナウイルス感染症総合対策について

本市では、第1次、第2次平塚市新型コロナウイルス感染症緊急対策の策定に続いて、国の地方創生臨時交付金を活用した予算総額約32億円となる平塚市新型コロナウイルス感染症総合対策を7月20日に策定された。

**問** 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の概要によると、事業継続への対応、「新しい生活様式」等への対応等を目的とした事業であれば、原則として用途に制限はないとされる中で、「新生児特別給付金の支給」、「妊婦に対する移動支援」、「中小企業等の新たな取り組みへの支援」、「キャッシュレス決済の普及推進」、「中小企業におけるITサービスの推進」、これらに着目された理由を伺う。

**市長** 総合対策は、新たな課題に対応するため、感染症や感染症が社会経済環境に与える影響を的確に見極めるとともに、中長期的な視点を持って策定した。

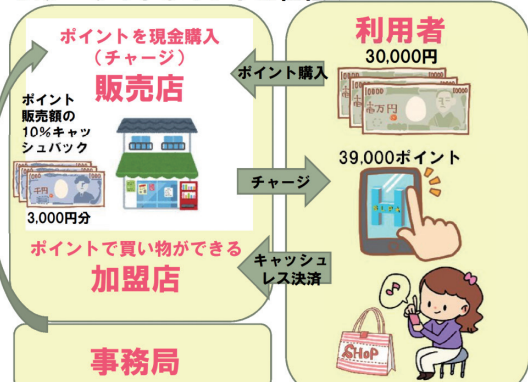
また、「第2波・第3波へ備えること」、「コロナ危機の中でも社会経済を回し続けること」、

「ポストコロナを見据え、その先のまちづくりを進めること」の3つを、本市が執るべき施策の方向性として示した。

総合対策の策定に当たっては、国が示す事例集も参考にしたが、本市の特性や市民の声、議会での議論などを踏まえるとともに、これら3つの施策の方向性に沿った取組を考えるよう指示し、必要な施策をまとめ上げた。

## プレミアムポイント事業「ひらつか☆スターライトポイント」、始まっています！

### スターライトポイントの仕組み



## 一問一答による再質問

**問** 昨年度、プレミアム商品券事業を実施され、あまりよい結果ではなかった経緯がある上で、今回、キャッシュレス化（ひらつか☆スターライトポイント事業）という形を選択された経緯を伺う。

**産業振興部長** コロナ危機の中でも社会経済を回し続け、ポストコロナを見据えてその先のまちづくりを進めるという本市がとるべき施策の方向性が示されているが、その中でキャッシュレス化というのは新しい生活様式の中でも推奨されている。したがって、キャッシュレス化の啓発を行いながら、コロナ禍における消費喚起を図るために、この事業を行っていく。

**問** 中小企業におけるITサービスの推進、テレワークを進めるにあたり、コミュニケーション不足、仕事とプライベートの線引きの難しさなどのデメリットもある。導入するのは企業だが、担当としてデメリット・メリットの精査を一緒にしていく必要があると考えるが見解を伺う。

**産業振興部長** 今回の補助金の中に研修等の費用も取り入れているので、これからテレワーク等の導入を図ろうと思う事業者には、併せて研修も開催をしてもらい、そのメリット・デメリットというものをしっかり検証しながら導入していただければと考える。



## 平塚市民病院、令和2年4月～6月の病院経営収支状況から

市民病院の経営収支状況について、令和2年度第1四半期分の報告をいただき、医業収支比率、経常収支比率、外来患者数、病床利用率のそれぞれの数値から、市民病院が非常に厳しい現実に直面しているのが分かった。

**問** 新型コロナウイルス感染症の経営への影響を最小限にするための取り組みが必要と考えるが、見解を伺う。

**病院事業管理者** 感染の拡大に伴い、隔離病棟の設置や予定していた手術、入院の延期、患者の受診控えなどがあり、患者数及び医業収益は大幅に減少した。これに対して、市民病院は、患者及び職員が、安心、安全に来院できる状況を作るため、感染対策の強化に取り組んだ。具体的には、手指消毒や3密の避、来院時の検温を徹底するほか、情報共有の強化や、院内感染防止に関する標語を作るなど職員教育やマニュアルの整備を行った。また、寄付や支援金などにより感染防止用の資機材を充実させることができた。このような環境整備により、救急患者や入院患者数は増加傾向にある。また、7月からは、手術予定患者の術前PCR検査を行い、手術件数も増加している。今後も、感染対策の充実を図りつつ、患者の確保に努め、経営改善に取り組んでいく。

**問** 近隣の小田原市立病院の赤字転落の恐れについて、8月26日に新聞報道があった。本市においても厳しい経営状況であると考えるので、見解を伺う。

**病院事業管理者** 令和2年度第1四半期の市民病院の経営状況は、前年同時期と比較すると、医業収益が約6億2千万円減少し、医業費用が約6千7百万円増加したため、収支では約6億8千6百万円悪化した。今後も、この厳しい状況が続いた場合は、年度内に資金不足が発生することも考えられるが、患者の確保や支出の縮減に取り組むとともに、補助金等の活用により、健全な経営に努めていく。

次ページに続く→

## ～必要な診察は受けましょう～

どのような感染症対策をしているのか不安がある場合には、直接、医療機関に問い合わせましょう。

発熱の際は、かかりつけ医、または近くの病院に連絡をし、指示を仰いでからの受診をお奨めします。



## 一問一答による再質問

**問** 新型コロナウイルス感染症の状況が少しずつ分かるにつれて、市民生活や経済活動を前に進める必要がある。私たちが正しく恐れるためのリード役をぜひ市民病院に担って欲しい。例えば、新型コロナウイルス感染症と熱中症の初期症状は非常に似ているということ、ある看護師さんから伺った。新型コロナウイルス感染症は目に見えないだけになかなか避けられないが、熱中症は皆が注意すれば避けられる。そういったことへの啓発を市民病院は市民に対してもっと大きな声で情報提供していただきたいと思うが、見解を伺う。

**副病院長兼事務局長** 以前は病院内で市民講座ということさまざまな病気への対応と予防について講演会等を行っていたが、現在は中止している。状況が変わり開催できるようになればそれらを活用したいと考える。また、病院長がケーブルテレビ等のインタビューの中でそのようなことを

答えているので、またホームページ等を使いながら、市民に対して啓発等ができれば行っていきたいと考える。

**問** 厳しい経営状況についてだが、神奈川県が9月の補正予算案に医療機関への協力金を計上している。これは平塚市民病院にどれぐらい入るのか伺う。

**副病院長兼事務局長** 第2次補正予算で増額されるという情報を得てはいるが、現時点でまだ申請手続前ということで、金額についてはこれから明らかになるかと思う。

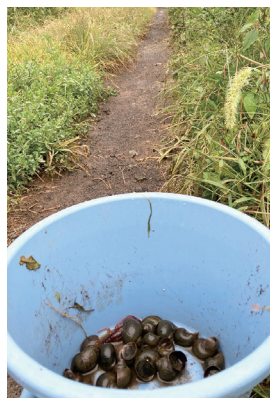
**問** 今年度、市からの繰入金等の検討をするのか。

**副病院長兼事務局長** まだ状況が見通せない部分がある。また、国、県の補助金についても今後どういった形がとられていくのかということもあるので、断言はできない。市民病院の経営についても、若干、上昇気味ではあるので、市と協議しながら検討したいと考えている。

## ～ジャンボタニシ・スクミリングガイを試食～



横内の田んぼで採取  
2020年10月6日(火)



西真土の用水路で採取  
2020年10月8日(木)

稲作の大敵、ジャンボタニシはサザエやシッタカのように巻き貝に属します。塩茹でのあと内臓等を取り除き、筋肉部分を試食しました。  
やや柔らかめ、特にクセもなし。



一晩、砂抜き。  
ピンク色は卵。



塩茹でのあと、貝殻と取り出した中身。



処理後の可食部。

※農作物や生態系に被害を与えるおそれのある外来種ジャンボタニシ(スクミリングガイ)の詳しい情報については「環境省 ジャンボタニシ」で検索してください。

## 最後に

議会では、会派や同僚議員との対話や議論を重ねて考えをまとめる、この大切なプロセスを後ろ盾として清風クラブの団長、2年目を務めさせていただいています。

手洗い・うがい、規則正しい生活と、細心の注意を払って『with コロナ』の日々を送り、この社会状況だからこそ見えてきた、さまざまなニーズに目を向けて活動しています。

とてもアナログな佐藤たかこが、ブログやホームページを展開しています。

「佐藤たかこ 平塚」で検索し、是非、ご覧ください！

佐藤たかこ 平塚

検索



ご意見・ご質問、応援メッセージは、E-mail : takatan.kike@md.scn-net.ne.jp  
又は Fax : 0463-21-7600 にてお知らせください。